

自然エネルギー信州ネット 2017年度定時総会 議事録

1. 開催日時： 2017(平成29)年6月17日(土)14:00～16:00
2. 開催場所： 長野市生涯学習センター トイゴ3階 第1学習室
3. 出席理事、監事、顧問、事務局(敬称略)
出席理事数 5人、出席監事 1名、出席顧問数 1人
理事： 高木直樹、平島安人、田村恵子、合原亮一、茅野恒秀
監事： 沖野外輝夫
顧問： 古川浩
事務局： 浅輪剛博、小田切奈々子、恩田誠
4. 出席者数
63名 (委任状を含む) 正会員数96の過半数48を超えたので、当定時総会は成立
6. 議事録作成： 田村恵子、浅輪剛博
7. 議長： 高木直樹

定刻に至り、浅輪事務局長により開会を宣し、高木会長、古川顧問より挨拶がありました。

高木会長>昨年からは会長を引き受けて1年間、会員の皆さんから信州ネットでやりたいことや意見をいただくことが総会の目的ですので、シャンシャンで終わらせるのではなく活発な議論をお願いします。

古川顧問>昨年度は自然エネルギー関係の2回の国際会議によるドイツとの交流、環境エネルギー分野の産業化に向けた勉強会の実施など、信州ネットの皆様には多大なる協力をいただき感謝しています。今年度は9月に地域再生可能エネルギー国際会議を長野市で開催する予定です。太陽光発電施設の地域サポートに関しては、信州パートナーズが経産省の事業を採択されたので、サポート体制が構築され、信州ネットの活発化にもつながるよう、県も連携したいと考えています。「次期長野県総合5か年計画」と「環境基本計画」の資料を配布しました。10年後20年後にどのような姿になってほしいか、県民のみなさんにご意見

をいただいているところです。気候変動、自然エネルギーの普及という項目もありますので、ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。信州ネットのますますのご活躍をお祈りしてあいさつにかえます。

議長の選出を諮ったところ、満場一致で高木直樹会員（理事・会長）が選任され、議案の審議に入りました。

議案

第1号議案 2016年度 事業報告

議長の指名にて平島理事より資料の説明を行いました。茅野理事より「信州自然エネルギー白書」に関しての補足説明がありました。

茅野理事>白書のための調査では、長野県の状況が全国に対してどうなのかということがわかってきました。太陽光発電に関して、今導入されている施設は、47都道府県でも小規模分散型50kW未満のものが多いです。全体では導入量10番目位だが、小規模のものは2～3位という実績。今後は大規模施設（県外の事業者）の設置計画が多く、状況が激変しそうです。県としては条例も作りながら対処していくところだが、市民レベルでも注視していく必要があります。

第2号議案 2016年度 収支決算報告及び監査報告

議長の指名にて小田切事務局員より資料の説明を行いました。沖野監事より監査報告があり、適正に管理されていることが報告され監査意見を述べました。

沖野監事>資料1-1の14ページに会員の動向が書かれている。年々会費会員が減っており、会費が増えてこないと事務局が維持できません。会員増加のための取組が必要です。また、地域協議会の積極的な活動を支援できるよう、母体である信州ネットの基盤強化をお願いします。

高木議長より第1号議案と第2号議案の質問を受け付けました。

茅野理事>一般社団法人も任意団体も「自然エネルギー信州ネット」という名称になりますが、法人を指す場合は（一社）自然エネルギー信州ネットなど、表記を明確にします。会員のみなさんは、これまで通り任意団体の会員として参画いただきます。他の団体との契約や事務局員雇用などにおいて、会長個人が無限責任を負う事態を避けるために有限責任の法人を立ち上げています。意思決定は任意団体信州ネットで行います。一般社団法人は任意団体ネットの事業実行部隊として設置しています。最優先すべきことは信州ネットの理念です。

合原理事>任意団体の理事と、一般社団の社員（＝理事）を同一にして、法人が別行動、単独行動を取らないよう一体的に運営します。

高木議長より、第1号議案及び第2号議案の採決を行い、拍手を持って承認されました。

第3号議案 2017～2018年度 役員選任の件

議長の指名にて浅輪事務局長より資料の説明を行いました。2017年度より2年任期の役員の改選であり、2017年4月21日の運営会議の推薦で高木会長の再任、及び高木会長の推薦で現理事全員の再任、新たに小田切奈々子会員、加藤三喜夫会員の理事への就任、また、宮入賢一郎会員の監事への就任をそれぞれ推薦する旨が報告されました。監事の定員が2名で1名欠員なので、今後、特に会計に詳しい会員の就任が求められました。

高木議長より、第3号議案の採決を行い、拍手を持って承認されました。

第4号議案 2017年度 事業計画(案)

議長の指名にて平島理事より資料の説明を行いました。合原理事より太陽光発電保守点検事業者のネットワーク事業に関して補足説明を行いました。

第5号議案 2017年度 収支予算報告(案)

議長の指名にて浅輪事務局長より資料の説明を行いました。

■質疑

会員1 > 予算に白書の印刷費が入っていませんが、信州ネットとして必要な経費は計上した方が良いのでは。

茅野理事 > 2016年度の地球環境基金を使って印刷する予定だったが間に合わなかったため、担当理事である私のほうで印刷いたします。情報をアップデートしていきたいので、今後の予算立ても検討したいです。PDF版をダウンロードする方法も合わせ考えていきたいです。

高木議長より、第4号議案及び第5号議案の採決を行い、拍手を持って承認されました。

■その他、意見交換など

会員2 > 長野県で開催を予定している国際会議には信州ネットとしてかかわる予定は？

古川顧問 > 国際会議については環境省とイクレイ（ICLEI）-持続可能性をめざす自治体協議会、長野県が主催という形で計画をしています。日程は決まっていますが、具体的にどんなセミナーを開催するかは現在調整中です。今後、広報などご協力をお願いしたい面もあるかと思っておりますのでよろしくお願ひします。

小田切理事 > 鬼無里のプロジェクトチーム支援に関して補足します。鬼無里のみなさんが予算を確保して活動されています。鬼無里の太陽光発電所、45度のパネル設置角度で豪雪地帯でも発電する事例として見学も多いです。ヤギによる草刈り、メンテナンスなど、地域で見守りをしています。また、現在長野市で審議中ですが、鬼無里の湯に薪ボイラーが導入される予定で、薪利用による循環型地域としてご案内できます。

会員3 > NPOまめってえ鬼無里が中心となって薪を供給できるよう長野市に働きかけてきました。今後は北信地域で自然エネルギーのゆるやかな連携を図れないかと考えています。長野市が合併して広域になりましたが、4分の3は森林で埋め尽くされています。旧町村の障壁をとって、木質バイオマスを広域的に展開する「自然エネルギーステーション」みたいなものを作ってもいいのではないのでしょうか。

高木会長 > 今のご意見は、信州ネットの設立時から模索していることです。各地に地域協議会もあるのでそんなことも含めて、鬼無里がやっていることを連携しながら広めていくはどうしたらよいか検討させていただきたい。

茅野理事・合原理事>今の信州ネットの仕組みの中では、プロジェクトチームを作るということになるかと思います。各地域に賛同をしてくれる人をつくり、繋いでいく。信州ネットのメールニュースで賛同者を募ることもできます。鬼無里での準備の状況で信州ネットにぜひ提案してください。

古川顧問>資料「次期長野県総合5か年計画 次期長野県環境基本計画策定に向けて」を説明します。次期総合5か年計画は現行のしあわせ信州創造プランの成果を受け、2018～22年度が計画期間となっています。総合計画審議会に諮問し、その中で検討をしています。県民のみなさんにさまざまな場面でご意見をうかがっています。信州ネットの皆さまからもご意見をいただければと思います。エネルギーの中では、環境エネルギー自立地域創造プロジェクトということで位置づけられていて、自然エネルギーの普及拡大、省エネルギー化の推進となっています。環境基本計画も同じく2018～22年度ということで計画しています。環境エネルギー戦略の中間見直しも行いますので、みなさんのご意見を本年7月中にいただければ反映していきたいと思います。6ページが第三次の環境基本計画、温暖化対策などのエネルギー施策が入っています。どのような信州を目指すのか、急激な人口減少の中でどのような社会を作っていくのか、信州ネットにかかわる部分やパリ協定に沿って長野県としても取り組みを進めていきます。発電設備容量では太陽光は進んでいるがそれ以外のエネルギー種別は進んでいません。小水力のポテンシャルは高いといわれていますが、まだまだ事業化されていません。また、持続可能な開発目標（SDGs）に向け、さまざまな部分で取り組みをしていきましょう。SDGsではエネルギーだけでなく健康などの部分もかかわっていきます。エネルギーだけでなく計画全体を見ていただいて、こういう施策を盛り込んでほしいということをご意見、お知恵をいただきたいです。

高木会長>計画の中で信州ネットのこともご紹介していただいているので、協力をして、みなさんの関心のある分野があると思いますので、直接言っていただいてもいい。日頃いろいろやりたくても、できないことがあるが県と連携することでブレイクスルーするかもしれません。われわれとは別のネットワークもあるので、進むこともあるでしょう。県民のひとりとして自分のこととして考えてみてください。

会員4 > 上田の市役所建設について、小田原のゼロエネルギービルのお話を聞く会を開催します。本日総会前に説明会があった地中熱利用も行っています。また、9月9日、上田で『日本と再生』という映画の上映会をします。信州ネット顧問の飯田哲也さんが、弁護士の河合弘之さんと作られた自然エネルギーの映画です。鬼無里や上田の取組も出てきます。具体的な提案をもらえるような映画。自主上映会のやりやすい価格設定になっているので、信州ネットでも上映会を企画してはいかがでしょうか？

高木会長 > 他県では大規模な太陽光発電所が増えています。山梨県ではあるエリアで17メガワット超の大型の発電所があるが、環境アセスメントにかからない形でした。地元資本ではなく外部資本の計画です。建てられたら次の17MWの計画ができました。当初は喜んでいた地元の人も、3つめには反対運動が起きています。できれば、土地の方に利益還元できるようにしたい。長野も絶対狙われているので、地元にも還元できるようにお金も自然も潤うようにしたいです。

茅野理事 > 各地からのご報告はありましたが、信州ネットとしての今後の活動について考えたいです。今日の総会前に開催された「長野県地中熱利用促進協議会」からのプレゼンが印象的でした。長野県は地中熱の適地で、はずれがないエネルギー。信州ネットとしても、地中熱協議会と連携して広めていきたいです。例えば、上田や松本の市役所の建て替えや、公共施設だけでなく民間企業や住宅でも地中熱の導入が検討されるよう、信州ネットがコンサルテーションに介在できるような役割とアイテムを持つことは、信州ネットのあり方としてとても大事。これまでエネルギー種別ごとに部会をたててきましたが、信州ネットの地域協議会が統合的に地域にコンサルテーションできると良いのではと思いました。

■事務局よりあいさつ

浅輪事務局長 > この度、事務局長に就任しての初めての総会、ご挨拶させていただきます。もともと上田の相乗りくん事業のサポートをするNECOの事務局をやっていました。プロジェクトチームで少数精鋭、機能的に動いていくことをやっていきたいです。資源エネルギー庁の事業もプロジェクトチームのひとつとして動かしていければと思っていますので、どんどん参加者が増えてくれば嬉しいです。

恩田（事務局スタッフ）＞企業会員として参加。太陽パネル設置の仕事をしています。信州ネットがあることは以前から知っていましたが、去年の冬、自宅に蓄電設備を導入し、地産地消を自宅からやっていこうという活動をはじめたのを機に、信州ネットに入会しました。みなさんの力を借りてやっていきたいです。

■新理事よりあいさつ

小田切理事＞信州ネット発足時から事務局コーディネーターとして6年。組織の立ち上げや鬼無里の皆さんとの太陽光発電事業など、貴重な体験をさせていただきました。今後は理事としてこれまでの経験を各地域への取組に還元していきたいです。

加藤理事＞鈴与マタイ株式会社で企業会員として参加。信州ネット初期に理事をしていて再任となります。太陽光の普及が進むのはいいが、悪者扱いされるのは大変つらいです。オペレーション&メンテナンスには一刻も早く手を付けたいです。また、佐久地域協議会も活動の低迷など同じ課題を抱えています。母体である信州ネットと一緒に活性化を進めていければと思います。

議長解任（16：12）

以上の議案の審議を終了し、議長が任を解いて閉会となりました。

以上